

平成27年度大和会東大和地区(東大和病院) 災害訓練(トリアージ) 参加報告書

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成28年01月30日

平成28年01月30日に平成27年度大和会東大和地区(東大和病院)災害訓練が、東大和市役所、東大和医師会/歯科医師会、東大和薬剤師会、北多摩西部消防署及び東京都DMATの協力により実施され、当協議会からは模擬傷病者として第二小学校のPTA; 5名及び見学者として2名が参加し、貴重な体験をさせて戴く事が出来ました。

この訓練は今回で12回目を迎え、昨年より訓練内容が向上し、より実践的になっている事を感じました。

災害発生時地域の拠点病院として我々住民にとって極めて重要な病院ですので、今後もこの様な訓練には積極的に参加させて戴きたいと思っております。

患者受け入れ体制の確保

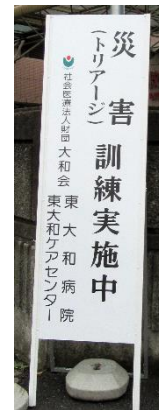
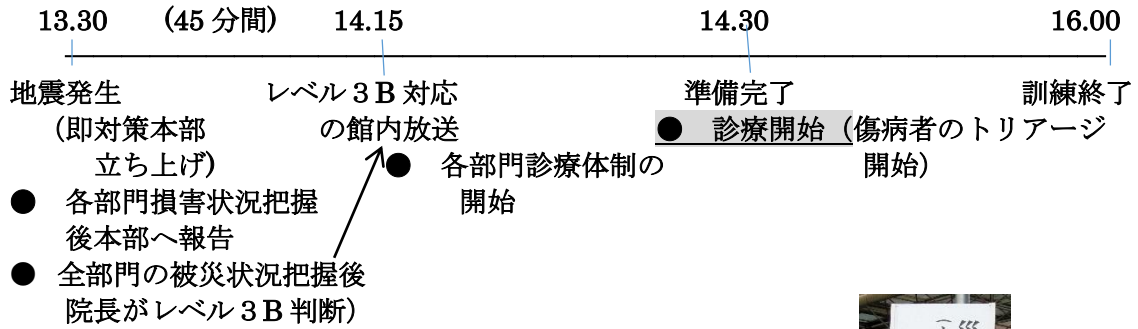
災害発生時病院での対応レベルが下記の通り区分されており、今回は13時30分に震度6の地震が発生し、病院全施設の被災状況を確認の結果14時15分に「**レベル3 B**」で対応する事になりトリアージに向けて病院全体が準備体制の作業を開始し、14時30分に体制が整い患者の受け入れが開始されました。

レベル0	救急センターのみで対応可能
レベル1	救急センターの対応能力を越え災害対策本部の設置が必要 関連職員の応援を要する 診療体制は概ね平常通り、一部の外来で対応可能 予定手術は延期
レベル2	多くの関連職種への対応を要する ・外来を中止(あるいは被災患者優先とし)必要な新設部門を設置 ・職員のマンパワー、被災患者の数に応じて中等症患者対応に外来ホールを使用 ・軽症者【緑】は救護所(緑班)または外来で処置
レベル3	全職員で長期間にわたり対応 ・全新設部門の設置 ・当院の被害状況の程度で以下の3段階を判断
3A	: 被害なし。概ね通常の診療が可能
3B	: 被害あり。部分的に診療可能
3C	: 甚大な被害。診療不可能(避難体制をとる)

※自主登院は、震度6以上(多摩地区)とする。
①総務課は最新の職員名簿を対策本部に持参する。
②案内班は職員名簿を基に自主登院した職員の出勤を確認・把握する。

今回訓練のタイムテーブル

今回の災害訓練は基本的に事前準備をせずに実施し、地震発生後、「対策本部立ち上げ～診療体制の開始～訓練終了」迄の大凡のタイムテーブルは以下の通りでした。現実的にも診療体制の確保にはこの程度の時間が必要と感じました。



トリアージタグ

トリアージ・タグ (災害現場用)

東京都

No. 17 氏名 (Name) 年齢 (Age) 性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)

住所 (Address) 電話 (Phone)

トリアージ実施月日・時刻 (月 日 AM PM 時 分) トリアージ実施者氏名

搬送機関名 収容医療機関名 東大和HP

トリアージ実施場所 東大和HP トリアージポスト

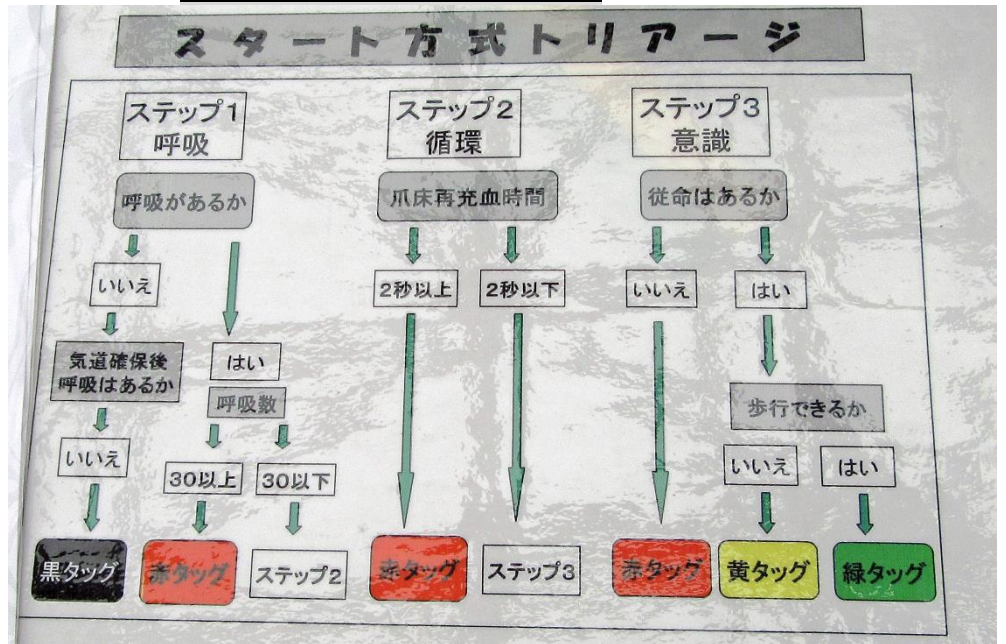
トリアージ実施機関 東大和HP 医師 救急救命士 その他

傷病名

トリアージ区分 0 I II III

0
I
II
III

トリアージ基本チェックシート





東大和市長
尾崎様の視察



対策本部作業状況



事務部門 報告場所

- 医局
- 総務課
- 用度課
- 医事課・連携センター
- 医療安全管理室
- 情報システム課
- 診療情報管理室
- 本部事務局・保育室

看護部 報告場所

- 6階
- 5階・B5階・SCU
- 4階・HCU
- 3階・重症病床・HCU
- 内視鏡センター
- 手術センター
- 相談支援総合センター
- 透析センター
- 外来センター
- 救急外来・ECU

コメディカル報告場所

- 栄養科
- リハビリ科
- ME科
- 臨床検査科
- 病理
- 薬局
- 放射線科
- クリニック報告場所



ケアセンター 居宅部門 報告場所

- | | |
|--------|-------------|
| 1階事務室 | 東大和訪問看護 |
| デイサービス | 村山大和診療所 |
| 栄養科 | ほっと支援センター |
| 老健3階 | 東大和ヘルパーST |
| 老健4階 | 東大和訪問リハC |
| | レンタルケアST |
| | 東大和ケアサポートC |
| | 武蔵村山ケアサポートC |
| | えのき訪問看護 |
| | 北部地域支援C |



東京都消防庁職員視察



診療希望の方へ
歩行できる方の診察は、
青梅況の向い側の医療救護所で
行っております。そちらへお越し下さい。
東大和病院 院長



搬送班の訓練準備状



緑診療班(セントラルクリニックで実施)



処置状況



病室	患者名	年齢	性別	病歴	担当	備考
3	2457	27	男	高血圧	山本	高血圧
1	2458	45	男	糖尿病	山本	糖尿病
3	2459	30	女	高血圧	山本	高血圧
4	不明	不明	不明	不明	不明	不明
11	不明	不明	不明	不明	不明	不明
12	不明	不明	不明	不明	不明	不明



黄色診療班





患者に対してのトリアージ状況



家族待機所



東京DMATの車両



災害訓練開始前(13:30)の2F 会議室(災害対策本部)への入室はご遠慮願います。

H27年12月21日

H27年度 大和会 東大和地区 災害訓練概要

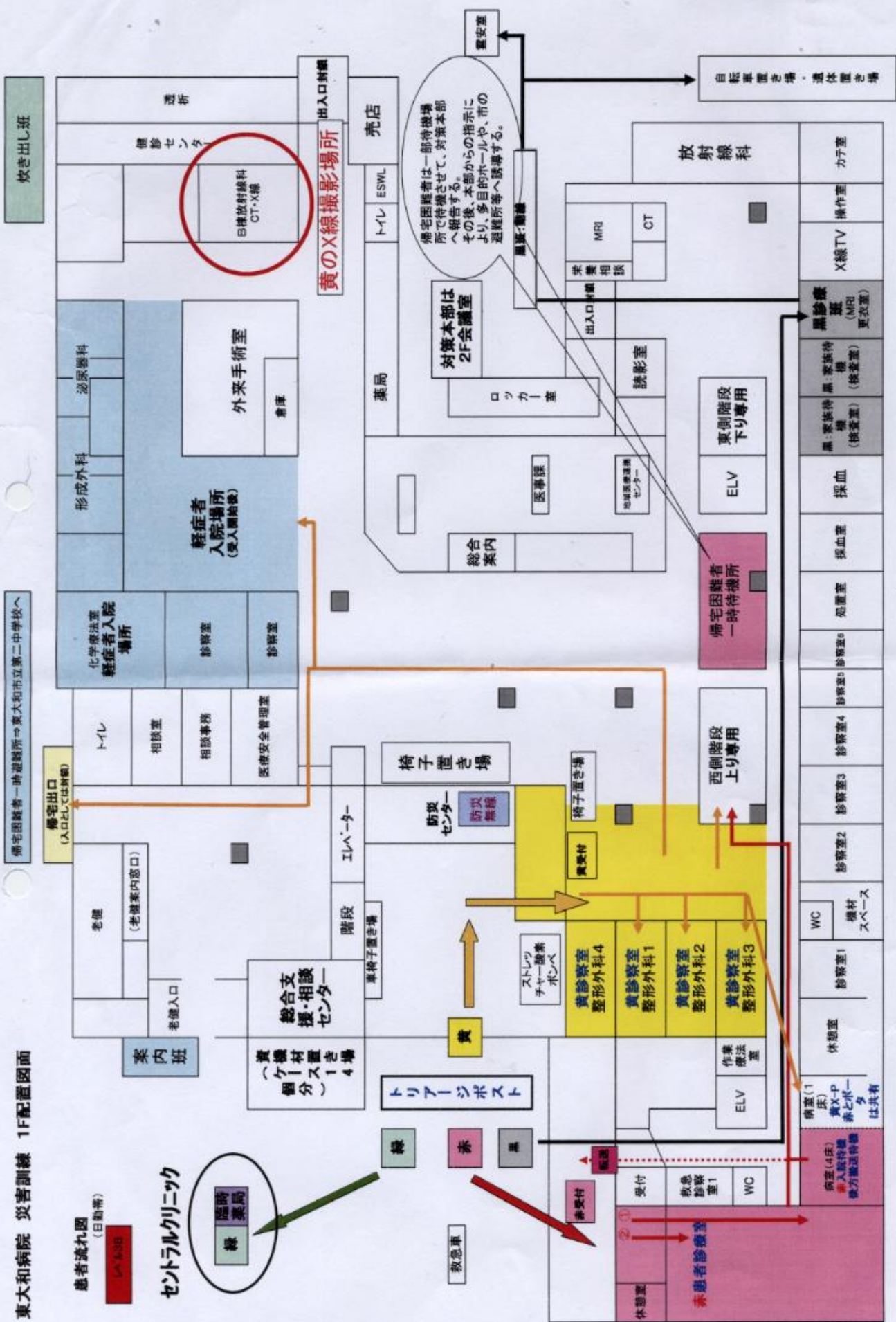
実施日程	平成28年1月30日(土) 13時30分～16時00分
訓練場所	東大和病院、東大和附属セントラルクリニック、東大和ケアセンター構内
訓練参加予定・見学者	東大和市医師会、東大和市歯科医師会、東大和市薬剤師会、東大和市役所、北多摩西部消防署、東大和市自治会(敬称略順不同)、東大和地区職員 他
災害想定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平日の日勤帯に、震度6の地震が発生した 2. ライフラインに関して <ul style="list-style-type: none"> ・水は使用可能。停電のため非常用電源のみ使用可能 ・都市ガスに関しては使用不可能。エレベーター、電子カルテは使用不能 ・外線電話は使用不可。災害優先電話、衛星電話、防災行政無線、PHS・内線のみ使用可能 3. 建物の被害は、各部署で棚の物品が散乱する状況 また、病棟や老健施設内でけが人が数名発生しているが、院内待機の状態である
事前準備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各部署のアクションカードを見直す 2. 事前勉強会、トリアージタグ勉強会、机上訓練等を実施
訓練内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初動の流れをアクションカードに沿って実施されているか検証する。 発災時は自部署に戻る。各部署は、患者・職員の安否確認・被害状況の確認を行い災害対策本部に報告する <ul style="list-style-type: none"> ・不明者を確認する ・医師は各科の科長が各医師の安否確認を行う ・他部署の職員、患者の安否の報告を行う 2. 負傷者の救出、診療 <ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の診療をする ・帰宅困難者の帰宅誘導を行う 3. 新設部署を立ち上げ、緊急診療を始める <ul style="list-style-type: none"> ・各科長は新設部署への派遣者を決定し指示する ・各所属長は、決められた派遣部署への応援要員を決定し、派遣する 4. セントラルクリニックとの連携確認 <ul style="list-style-type: none"> ・軽傷者の診療を行なう ・東大和病院との連携体制の検証
医師会、市との連携	多摩地域を被災地域と想定して、東大和市医師会、市役所と合同で災害時対応訓練を行なう
消防署との連携	救急車にて、重症者等を病院へ反復搬送する、等
当日のスケジュール	<p>13:30 震度6の地震発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策本部の設置(災害レベル3Bにて対応) ・各部署被害状況の把握、患者・利用者の安全確認と把握及び帰宅誘導、火気点検 ・災害対策本部への報告 → 院内の安全及び安定の確保 <p>14:15頃 災害対策本部より災害レベルと対応についての発表 診療体制の準備(新設部署準備)→患者受け入れ開始</p> <p>16:00 訓練終了(ご講評シート(アンケート)のご記入をお願い申し上げます)</p>

東大和病院 災害訓練 1F配置図面

患者流れ図
(日勤帯)

1F 1F

セントラルクリニック



自転車置き場: 遗体安置場(多数収容される場合)(奥から安置すること。遗体安置場担当係が設営と管理)